

まち の 話題



完成した統合「関宮小学校」

大谷・関宮・出合・熊次小学校が統合 統合「関宮小学校」が完成

関宮中学校横に建設を進めていた統合「関宮小学校」が完成し、3月14日(日)に学校関係者約240人が集まり竣工式典が行われました。

統合「関宮小学校」は、少子化による複式学級を回避し、子どもたちが伸びやかに学べる環境をつくるため、大谷・関宮・出合・熊次小学校の4校を統合したものです。4月8日に開校式が行われ、児童数は246人です。

校舎は鉄筋コンクリート造3階建てで、エレベーターや太陽光発電装置、各階には様々な学習形態に対応できるワークスペース(多目的スペース)などが設置されています。その他にも、体育館(延べ床面積1097平方メートル)や小中学校兼用グラウンド(約15000平方メートル)、新設グラウンド(約1900平方メートル)などの施設が整備されています。

レンタル工場で地域活性化に期待 地域産業支援工場が完成

大屋町由良と夏梅に建設を進めていた地域産業支援工場が完成し、3月25日(木)に竣工式が行われました。

これは、老朽化した中小規模の工場を団地内に集積するもので、企業イメージの向上や従業員確保、経営コストの削減や技術力の向上、駐車場と福利厚生施設の共同利用による企業の活性化が期待されます。

また、土地造成と工場建設を行政が行って、有料賃貸借による貸し工場方式とすることで、事業者は初期投資の負担が少なく、機械設備に重点投資することができそうです。

事業費は約7億5千万円、来年度にはアクセス道路や公園整備も計画されています。



企業活性化が期待される産業支援工場

力作が並んだ心象但馬書展

但馬地区全域から力作がずらり

日頃の練習の成果を披露する心象但馬書展が3月20日(土)・21日(日)の2日間、八鹿町民会館で開かれました。心象書道会(代表=西野玉龍さん・馬瀬)が主催し、但馬地区全域から学生の部600点、一般の部177点の作品が出展されました。

幼稚園から高校生までの学生の部は、「世界平和」「宇宙旅行」「新市の誕生」など学年ごとの課題に挑んだ力作が並びました。

一般の部は、「心教と書の世界」をテーマとして額や掛け軸、扇子に仕上げた作品が展示されました。



日頃の練習の成果を披露した書道展